

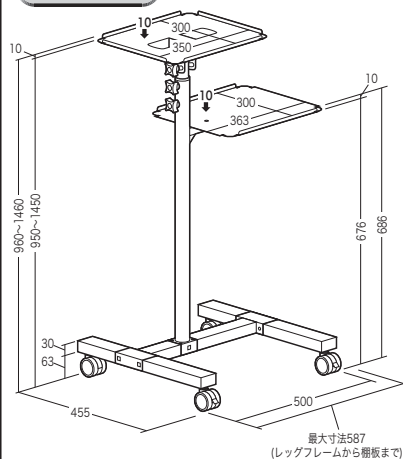
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようにご指導ください。

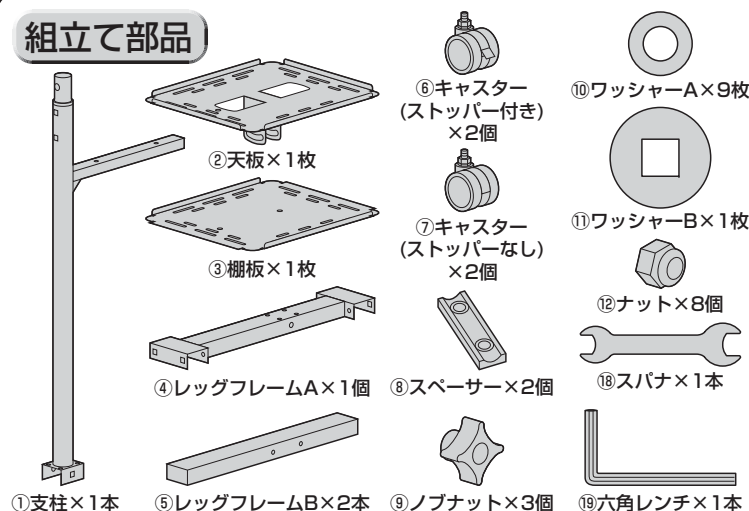
★用意していただくもの・・・プラスドライバー
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

完成図



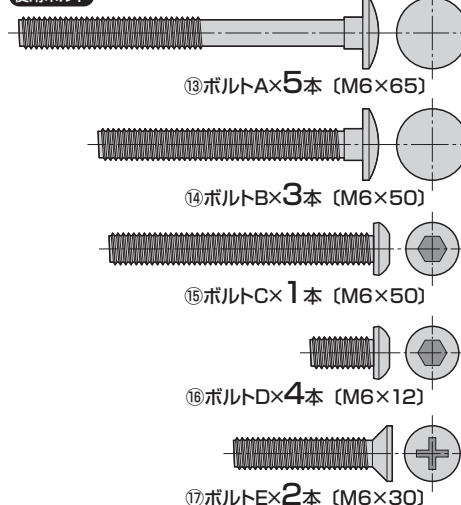
総耐荷重 20kg

組立て部品

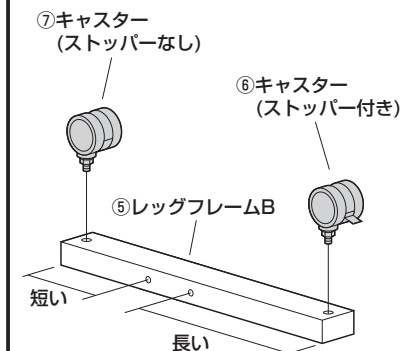


※部品の欠品や破損があった場合は、品番(100-PRST002など)と
上記の部品番号(①～⑲)と部品名(ナットなど)をお知らせください。

使用ボルト



1 レッグフレームBに キャスターを取付けます。



2 レッグフレームAにレッグフレームBを取付けます。

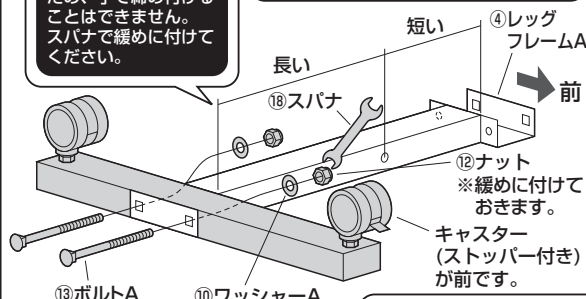
横から見た図
ナットは平らな面が
ボルト側です。
ボルト側 ←

⑫ナット

＜注意＞
緩み止め仕様のナット
ため、手で締め付ける
ことはできません。
スパナで緩めに付けて
ください。

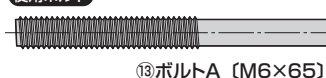


棚板を右側
にする場合は
下図の向きで
組み立てます。



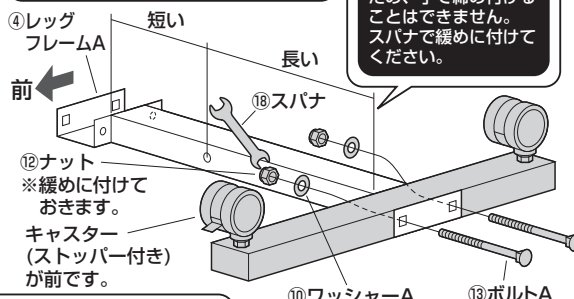
同様に反対側にもレッグフレームB
を取付けます。

使用ボルト



⑬ボルトA（M6×65）

棚板を左側
にする場合は
下図の向きで
組み立てます。



同様に反対側にもレッグフレームB
を取付けます。

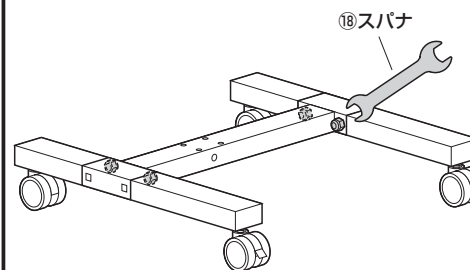
横から見た図
ナットは平らな面が
ボルト側です。
→ ボルト側

⑫ナット

＜注意＞
緩み止め仕様のナット
ため、手で締め付ける
ことはできません。
スパナで緩めに付けて
ください。

3 レッグフレームをひっくり返し、 ナットをスパナで締め付けます。

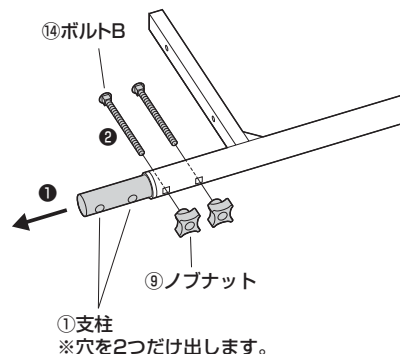
スパナで4カ所のナットを締め付けます。
※下図は棚板を右側にした場合のイラストです。



※キャスターが床に着いた状態でナットを
締めてください。

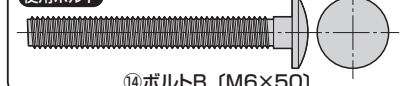
4 支柱をボルトBで 固定します。

支柱を伸ばし、先端の穴が2つ出た状態で
固定します。



①支柱
※穴を2つだけ出します。

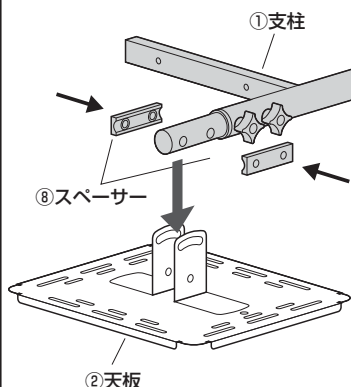
使用ボルト



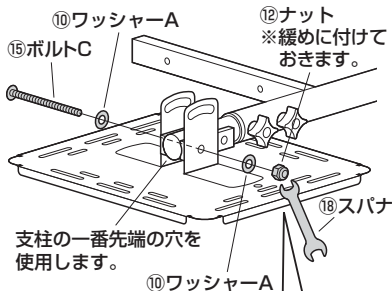
⑭ボルトB（M6×50）

5 天板に支柱を取付けます。

① スペースで支柱を挟み込み、天板に差込みます。

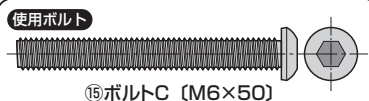


② 支柱をボルトCとナットで止めます。

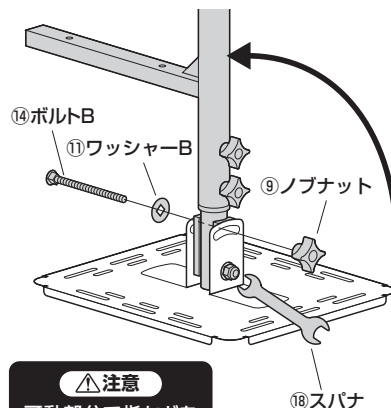


横から見た図
ナットは平らな面がボルト側です。

<注意> 緩み止め仕様のナットのため、手で締め付けることはできません。スパナで緩めに付けてください。

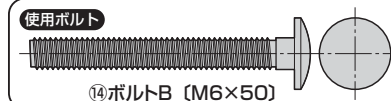


③ 支柱を起こし、ボルトBとノブナットで固定します。



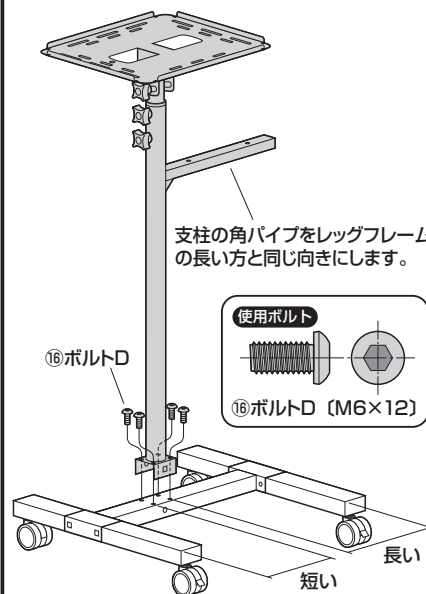
△注意

可動部分で指などを挟まないように十分ご注意ください。

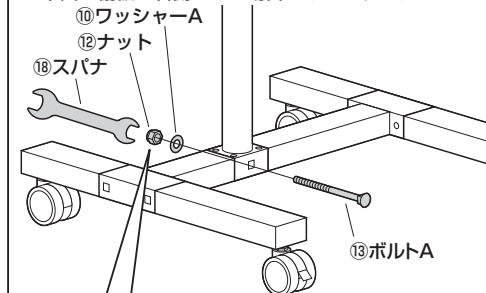


6 レッグフレームに支柱を取付けます。

① レッグフレームAに支柱をボルトDで固定します。
※下図は棚板を右側にした場合のイラストです。

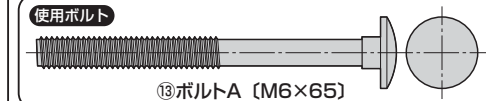


② さらにボルトAとナットで固定します。
※下図は棚板を右側にした場合のイラストです。

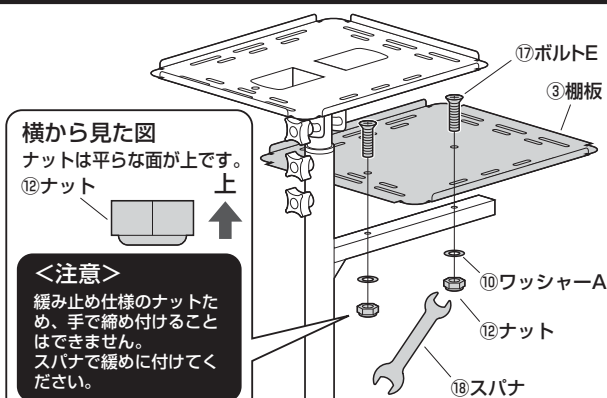


横から見た図
ナットは平らな面がボルト側です。

<注意> 緩み止め仕様のナットのため、手で締め付けることはできません。スパナで緩めに付けてください。



7 支柱に棚板を取付けて完成です。



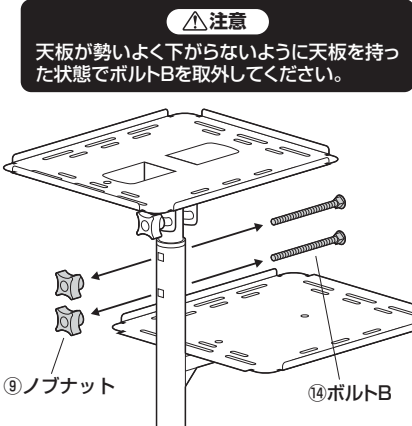
※最後に全てのボルト、ナットをしっかり締め付けて固定します。

天板の高さ調節方法

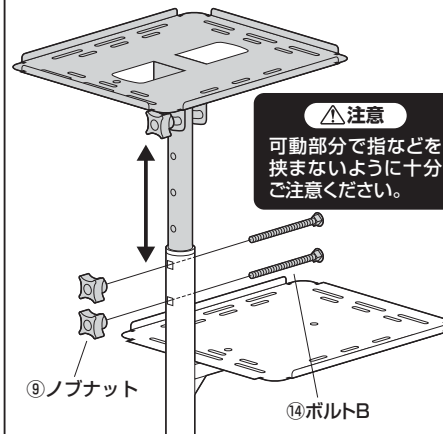
天板の高さは11段階で調節可能です。

△注意 機器が脱落・破損する恐れがあります。
天板・棚板に機器を乗せたまま天板の高さ調節をしないでください。

① 下図のボルトB・ノブナットを外します。



② 支柱の高さを調節し、任意の高さで固定します。



天板の角度調節方法

下図のノブナットを緩めると天板の角度を調節できます。
角度調節後はしっかりと締め付けて固定します。

△注意 機器が脱落・破損する恐れがあります。
天板・棚板に機器を乗せたまま天板の角度調節をしないでください。

<横から見た図>

